

子育てをするなら  
鹿児島市

# 子育て ガイド

内=内容 対=対象  
期=日時・期間・期日 所=場所  
定=定員・定数・人員 料=料金  
申=申し込み 問=問い合わせ  
FAX=FAX E=Eメール  
共=共通事項

## お知らせ・相談

### 児童手当の申請

**対** 中学校修了まで(15歳到達後の最初の3月31日まで)の児童を養育している人 ◇申請が認定されると、申請の翌月分から支給されます ◇公務員は勤務先での手続きになります。勤務先へご確認ください **問** こども福祉課216-1261 (FAX216-1284)、各支所の福祉課・保健福祉課

### 11月は児童虐待防止推進月間

◇あなたのまわりで虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときは迷わず連絡してください ◇緊急のときは警察110番へ

窓口	電話番号
こども福祉課	216-1260 (代)224-1111
こどもと女性の相談室	216-1262
谷山福祉部福祉課	269-8473
県中央児童相談所	264-3003
児童相談所 全国共通ダイヤル	0570-064-000

**問** こども福祉課216-1260 (FAX216-1284)

### 乳幼児相談窓口

**内** 保健師や心理相談員による子育てや発育・発達に関する相談、保健福祉サービスなどに関する情報提供

**期** 毎週月～金曜日8時30分～17時15分(休日を除く)

**問** 母子保健課216-1485 (FAX216-1284)



### 家庭児童相談

◇家庭における児童についての悩みごとや児童虐待に関する相談を受けています ◇開設日…月～金曜日(休日を除く)

窓口	時間
こどもと女性の相談室216-1262	8時30分～17時15分
谷山福祉部福祉課269-8473	9時15分～16時

### 産後ケア事業

**内** 助産所入所による母体管理の指導や授乳、もく浴などの指導 **対** 出産後、身近に世話をしてくれる人がいないなど、産後の体調や育児に不安のある人 ◇入所期間…出産した施設を退院後7日以内 **料** 1日9258円(市民税非課税世帯の人は3395円、生活保護世帯の人は無料) **問** 母子保健課216-1485 (FAX216-1284)

### ご存じですか 乳幼児突然死症候群

◇乳幼児突然死症候群(SIDS)はそれまで元気だった赤ちゃんが、事故や窒息ではなく眠っている間に突然死亡してしまう病気です ◇原因はまだよく分かっていませんが、次の3点に気をつけることでこの病気の発症率が低下することが分かっています ①赤ちゃんを寝かせるときはあおむけ寝に ②妊娠中や赤ちゃんの周囲でたばこを吸わない ③できるだけ母乳で育てる **問** 母子保健課216-1485 (FAX216-1284)

### 宮川野外活動センターの一部施設の利用中止について

◇プレイルーム(体育館)の外壁等改修工事のため12月1日(月)～来年2月28日(土)は宿泊学習室以外の施設の利用を中止します

**問** 宮川野外活動センター265-5094、青少年課227-1971

## イベント・講座

### 育児教室

**内** 子どもの病気や発育・しつけ・離乳食など **対** ①今年3月～9月に生まれた初めての子どもを持つ親とその家族 ②今年4月以降に生まれた初めての子どもを持つ親とその家族 **期** 12月1日～15日の毎週月曜日13時30分～15時30分(全3回) **所** ①北部保健センター ②松元地区保健センター **定** ①30組 ②20組(それぞれ先着順) **料** 無料 **申** 11月13日から電話で①は北部保健センター244-5693、②は松元保健福祉課278-5417へ



### 秋の心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育てる運動 強調期間(11月30日まで)

◇家庭や地域、職場であいさつ運動を推進しましょう  
◇家庭の絆を深め、何でも話し合える親子の雰囲気づくりに努めましょう  
◇青少年が健全に育つ、よりよい環境づくりに努めましょう  
◇親子やグループでさまざまな体験活動に参加しましょう **問** 青少年課227-1971

### 東部保健センター

#### 離乳食教室「はじめの一步」

**内** 基本のだしと取り分け離乳食の実演・実技 **対** 離乳食を始めようとしている乳児を持つ親 **期** 12月9日(火)13時30分～15時30分 **定** 15人(先着順) **料** 200円程度(材料代) **申** 11月13日から電話で東部保健センター216-1310へ

### 南部保健センター 母親・父親になるための準備教室(ママ・パパ学級)

**内** 妊娠・出産・育児の学習など **対** 初めての妊娠中の人とその家族 **期** 12月2日(火)・9日(火)・14日(日)の13時30分～16時(全3回) **定** 40人程度 **料** 無料 **申** 電話で南部保健センター268-2315へ

### グラスボート洋上体験学習

**内** 洋上からの溶岩鑑賞と海底探検 **対** 子どもが小学生以上の親子 **期** 11月8日(土)・24日(振休)13時～15時 ◇集合場所…鹿児島港桜島フェリーターミナル内 **定** 11人(超えたら抽選) **料** 300円 ◇申し込みなど詳しくは市シルバー人材センター252-4661へ



### 子ども“漁師塾” in 錦江湾

**内** 定置網漁の見学や釣り教室などの漁業体験学習 **対** 市内に住む小学生とその保護者 **期** 11月24日(振休)9時～13時 ◇集合場所…谷山港 **定** 30人(超えたら抽選) **料** 大人1000円、子ども500円 **申** 往復はがきに世帯ごとに参加者全員の住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書いて、11月14日(必着)までに〒892-8677山下町11-1生産流通課216-1341へ

## 子育て相談室

**問** すこやか子育て交流館(りぼんかん)  
相談ダイヤル 812-7741

Q

もうすぐ2歳になる女の子ですが、お友達とおもちゃの貸し借りがうまくできません。お友達のおもちゃを取り上げることもあります。どう対応したらよいのでしょうか？

A

この頃の年齢の子どもさんにとっておもちゃを譲り合うことは、まだ難しい面があります。自分と他人を区別することや、自分のものと他人のものを区別することなど、経験を通して学んでいく時期です。

子ども同士のやり取りはある程度、見守ってあげたいものですが、ご相談のようなときは大人が仲介役になるのもひとつの方法です。お母さんやお父さんが、「このおもちゃで遊びたかったのかな」と、いったんお子さんの気持ちに共感してあげ、「今お友達が使っているから、このおもちゃで遊んでみる？」と他の遊びに誘ってみたり、「急に取られたらお友達がびっくりするね」とお友達の気持ちを代弁してあげたりしましょう。このような経験を繰り返しておもちゃの貸し借りやお友達との遊び方を学んでいきます。

